

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公表番号】特表 2001-510982(P2001-510982A)

【公表日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)

【出願番号】特願平 9-526921

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 38/22

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

C 1 2 Q 1/68

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/24

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 20 日 (2004.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年1月20日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第526921号

2. 補正をする者

名 称 プロジェニター, インコーポレーテッド

3. 代理人

住 所 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号
虎ノ門5森ビル3階

電話番号 03 (3503) 8637

氏 名 (9109) 弁理士 平木 祐輔



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



方 式 査 査



(別紙)

請求の範囲

1. 造血細胞の混合物を有効量のレプチンにさらすことを含んでなる、造血細胞の活性化方法。
2. 造血細胞が骨髓から得られる、請求項1に記載の方法。
3. 造血細胞が末梢血から得られる、請求項1に記載の方法。
4. 造血細胞が臍帯血から得られる、請求項1に記載の方法。
5. 造血細胞が胚の卵黄包から得られる、請求項1に記載の方法。
6. 造血細胞が胎児肝臓から得られる、請求項1に記載の方法。
7. 造血細胞がCD34を発現する、請求項1に記載の方法。
8. 造血細胞がHu-B1.219を発現する、請求項1に記載の方法。
9. 造血細胞を1種以上のサイトカインと組み合わせたレプチンにさらす、請求項1に記載の方法。
10. サイトカインがIL-1、IL-3、IL-6、EP0、Sl因子(steel factor)、LIFまたはGM-CSFである、請求項9に記載の方法。
11. 活性化された造血細胞が増殖する、請求項1に記載の方法。
12. 活性化された造血細胞が分化する、請求項1に記載の方法。
13. 活性化された造血細胞が骨髓性細胞に分化する、請求項12に記載の方法。
14. 骨髓性細胞がマクロファージである、請求項13に記載の方法。
15. 骨髓性細胞が好中球である、請求項13に記載の方法。
16. 活性化された造血細胞が赤血球に分化する、請求項12に記載の方法。
17. 造血細胞の機能向上を必要としている被験者を治療する際に医薬品として使用するレプチン。
18. 被験者が免疫不全を患っている、請求項17に記載のレプチン。
19. 被験者が貧血を患っている、請求項17に記載のレプチン。
20. 被験者が骨髓不全を患っている、請求項18に記載のレプチン。
21. レプチンが1種以上のサイトカインと共に使用される、請求項17に記載のレプチン。

22. サイトカインがIL-1、IL-3、IL-6、EP0、S1因子(steel factor)、LIFまたはGM-CSFである、請求項21に記載のレプチン。
23. ドナー骨髄の移植後にドナー細胞の植付けを増強する際に医薬品として使用するレプチン。
24. レプチンが1種以上のサイトカインと共に使用される、請求項23に記載のレプチン。
25. サイトカインがIL-1、IL-3、IL-6、EP0、S1因子(steel factor)、LIFまたはGM-CSFである、請求項24に記載のレプチン。
26. 被験者において脈管形成(angiogenesis)を促進する際に医薬品として使用するレプチン。
27. レプチンが1種以上のサイトカインと共に使用される、請求項26に記載のレプチン。
28. サイトカインがFGF、VEGF、EGF、PDGFまたはTGFである、請求項27に記載のレプチン。
29. 被験者において血管形成(vasculogenesis)を促進する際に医薬品として使用するレプチン。
30. レプチンが1種以上のサイトカインと共に使用される、請求項29に記載のレプチン。
31. サイトカインがFGF、VEGF、EGF、PDGFまたはTGFである、請求項30に記載のレプチン。
32. 細胞混合物中の造血前駆細胞の同定方法であって、該細胞混合物を、Hu-B1.219タンパク質に結合する作用物質と接触させ、該作用物質に結合した細胞を選択することを含んでなる方法。
33. 前記作用物質が抗体またはそのフラグメントである、請求項32に記載の方法。
34. 前記作用物質がレプチンまたはそのフラグメントである、請求項32に記載の方法。
35. 細胞混合物中の造血前駆細胞の検出方法であって、
 - (a) 該細胞混合物からRNAを抽出し、

- (b) 該RNAを、図1A～1Gに示した配列の一部に由来するオリゴヌクレオチドと接触させ、そして
 - (c) 該RNAと該オリゴヌクレオチドとのハイブリッドの形成を検出する、ことを含んでなる方法。
36. 組織中の造血前駆細胞の同定方法であって、
- (a) 組織を、図1A～1Gに示した配列の一部に由来するオリゴヌクレオチドと接触させ、そして
 - (b) 該RNAと該オリゴヌクレオチドとのハイブリッドの形成を検出する、ことを含んでなる方法。
37. 癌の検出方法であって、
- (a) 体液をHu-B1.219タンパク質に対する特異的結合剤と接触させ、そして
 - (b) 該体液中のHu-B1.219タンパク質の存在を検出する、ことを含んでなる方法。
38. Hu-B1.219を発現する癌を治療する際に医薬品として使用するレプチンであって、前記レプチンにより癌の増殖が抑制される、前記医薬品として使用するレプチン。
39. レプチンが増殖抑制剤に結合されている、請求項38に記載のレプチン。
40. マクロファージの活性化を引き出すことによって損傷治癒を促進する際に医薬品として使用するレプチン。